



知的集積産業という新しい未来へ

令和6年3月20日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

インテルやサンマイクロシステムズなど、新しい知的集積産業は、高い利益性と先端技術やシステムにおける市場の独占を有する。これら先端性への参加は、自由経済システムが描く新しい未来において、絶対的な必要性なのである。

これらは先端性という新しい現実に落伍することを意味とともに、これら先端技術産業が知的集積産業であり、優れた人材におけるソフト資産が、新しい現実への転換と創造を有することを理解しなくてはならない。

これらは学術性の進歩が、新しい可能性を無限に拡大していることであり、これら知的集積する産業は、その絶対的なプレゼンスを自己に与えているのである。

これらは知的進歩性と資本の集積を有することにおいて、遥かに大きな自己のプレゼンスを形成するものである。

これらは自由経済システムという現実が、絶滝的な企業の進歩性において、最も優れた現実を彼らに与えることを意味するものである。

これらは知的資産が、その可能性を実現することであり、経済という現実へ参加する限りにおいてこれら現実を否定することは不可能なのである。

これらは人材が有する高い理解性が、新しい可能性を実現することも理解しなくてはならない。これらは、アメリカのトッププレゼンスが、さらに優れていることを意味するものである。彼らの有する優れた大学や教育環境は、さらなる未来を模索しているのである。

これらは世界が新たな技術文明へ移行していることを理解しなくてはならない。これらは知的進歩性における未来の創造なのである。

これらが自由経済システムというルールを有することは、参加への可能性が拓かれていることであり、それらは世界の若者がビジネスを希求する真実なのである。

